

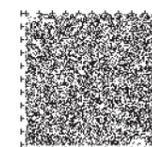
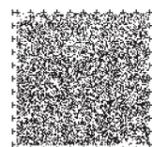
# 04

暮らし | Well-being

## スポーツや運動を通じて 幅広い世代が健やかに団結し、 誰もが絆を感じられる未来

[活動紹介]

- 「北國ハニービー石川」のホームへ | イオンモール新小松(石川県小松市)
- 扶桑町走ろう会 | イオンモール扶桑(愛知県丹羽郡扶桑町)
- 提携  
財団 済生会 富山県済生会高岡病院との取り組み | イオンモール高岡(富山県高岡市)
- ふだんクエスト | イオンモール羽生(埼玉県羽生市)
- その場でわかる! 歩行チェックチャレンジ! | イオンモール草津(滋賀県草津市)
- 懐話ふだ&FC刈谷ウォーキングサッカー教室 | イオンモール東浦(愛知県知多郡東浦町)



## 「北國ハニービー石川」

## のホームへ


 まちの健やか+  
Health & Wellness mall

## どんなプロジェクト？

女子ハンドボールチーム「北國ハニービー石川」とともに、イオンモール新小松内でハンドボール体験会やパブリックビューイングなどを行い、スポーツを通じた地域コミュニティづくりを行っています。



## 北國ハニービー石川の優勝報告会

日本リーグ10連覇の偉業を達成した北國ハニービー石川の優勝報告会を、イオンモール新小松の1階祭広場にて開催。ハンドボール体験や選手たちのトークセッションも熱気に包まれました。

「住み続けたい」地域の魅力を届け  
地域スポーツの魅力を届ける。



## 開催地域：石川県小松市

石川県西南部に広がる、豊かな加賀平野の中央に位置。北陸の空の玄関口「小松空港」があり、2024年3月には、北陸新幹線の延伸に伴い「小松駅」が新たに開業。伝統工芸「九谷焼」の原料産地でもあります。

## ここがユニーク！

モール内が、ハンドボール体験の場に！子どもたちが選手たちとキャッチボールやシュート体験を楽しみました。



## 開催施設：イオンモール新小松

「九谷焼」108枚を配したシンボルモニュメント「九谷五彩柱」を設置。小松市、小松菓子業組合との協働で実施する「こまつプリン百物語PRイベント」など、地域の魅力を磨き、発信する「究極のローカライズ」に挑戦しています。

基本商圏：車北30分圏南50分圏  
約19万世帯 約51万人  
出店店舗数：約150店舗(専門店数)  
敷地面積：約128,000㎡  
駐車台数：約3,400台  
オープン日：2017年3月24日

Life Design Developer

## 女子ハンドボール・北國ハニービー石川 × イオンモール新小松



イオンモール新小松

営業マネージャー

土屋 秀師

営業担当

岡田 咲希

北國ハニービー石川

選手

辻野 桃佳さま

選手

柿添 まどかさま

ヘッドコーチ

河合 辰弥さま

GM

宮本 和宏さま

小松市唯一のプロチームが  
地域への愛着と一体感を担う  
存在に

宮本さん：2024年9月からハンドボールの国内新プロリーグ「リーグH」が男女ともに始まり、女子は全11チームが熱戦を繰り広げています。サッカーやバスケットボールがプロ化によって盛り上がり競技レベルが格段に上がったことから、ハンドボール界全体が期待感を持って挑んでいます。

辻野選手：プロ化される前と比べて試合での演出などもかっこよくなり、これまで以上にプロ意識を持ってファンの方のために戦っています。

柿添選手：小松総合体育館のホームゲームは格別ですね！ファンの方の声援があると、モチベーションがグッと上がります。宮本さん：オープニングやハーフタイムには、地域のダンススクールや大学の皆さんによるパフォーマンスがあり、あたたかい雰囲気を感じますね。私たちは小松市唯一のプロスポーツチームとして、地域に賑わいをもたらしたいと考えています。その中で、2023年からイオンモールと多くの取り組みを行ってきましたね。

土屋：私たちも、お買い物場としてだけでなく、地域の魅力を発信する場として、地域の皆さまが集うコミュニティとしての役割などを果たし、地域の皆さまを笑顔にしたいと考えています。ハニービーさんは、一

緒に地域を盛り上げ、コミュニティを活性化させることをめざす大切な仲間だと感じているんです。

イオンモールでの  
イベントを通じて  
新しいファンが誕生！

岡田：最初は「お仕事体験」イベントでした。地域の子供たちに、プロスポーツ選手と触れ合い、スポーツの楽しさを感じてもらえる貴重な機会をつくっていただきました。

辻野選手：クラブチームなどで教えたことはあったのですが、未経験の子供がたくさん参加してくれるのは初めてでした。「ボールを投げるのが楽しい」「シュートを打ちたい」など、すごく楽しんでくれたのがうれしかったです。ハンドボールやハニービーを知ってもらっただけでなく、純粋に体を動かす楽しさを伝えられたかなと思います。

岡田：これまでにイオンモールでは、パブリックビューイングを4回、優勝報告会、壮行会を行いました。大きなサイネージに映し出される試合を夢中で観ている地域の方の姿に、私も喜びを感じました。

河合さん：「小松市に、こんなチームがあったんだ」と、初めて知っていただく方も多かったと思います。接する機会を重ねることで、選手を覚えていただいたりハンドボールの奥深さに気づいていただけたら幸いです。

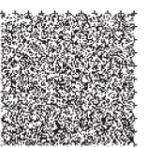
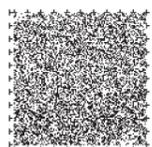
宮本さん：イオンモール新小松には、週末だと3~4万人が来られると聞いています。そんなにも多くの人にワクワク体験をお届けできるなんて、すごいですよね。

辻野選手：イベントをきっかけに試合に来てくれる方が多いです。「あんなに激しいの?」「怖くない、大丈夫?」といったお声も(笑)。ハンドボール自体を知らなかったけれど、ハンドボール教室に通い始めたという方もいました。

河合さん：私は2024年12月からチームのヘッドコーチに就任しましたが、地域とのつながりが育まれているなと感じます。

共創パートナー  
北國ハニービー石川

株式会社ハニービースポーツが運営する女子ハンドボールチーム。日本リーグ10連覇、2024年は全日本社会人ハンドボール選手権大会や国民スポーツ大会で優勝を果たしています。



### 女子ハンドボール・北國ハニービー石川×イオンモール新小松

**地域の人が**  
**ハンドボールとふれあい**  
**選手が感謝を伝えられる体験会を**  
**柿添選手:「お仕事体験」の時のように、も**  
**っとイオンモールでハンドボール体験会が**  
**きたらと思っています。お買い物のついでに、**  
**気軽にハンドボールを楽しんでいただけま**  
**すし、私たちが地域の方とのふれあいの時**  
**間を増やせたらうれしいです。**



**辻野選手:**地域の皆さんの応援がエネルギーとなり、頑張ることができています。私たちが地域の方にハンドボールを通じて元気をお届けできたらと思います。  
**河合さん:**ハニービーは、1975年の創設からコツコツと築いてきた土台と恵まれた練習環境があり、高い意識でトレーニングに励む選手がそろっています。これから「地域の象徴」となり、市外・県外の方にも「ハニービーを応援するために小松市に行きたい」と思っただけのよう、私もヘッドコーチとして尽力していきたいです。



**土屋:**ぜひやりましょう!実は私の子どもが高校からハンドボールを始めたんです。息子の姿を見ながら父親である私も、どんどんハンドボールにはまって。息子をきっかけに私がファンになったように、接点があればファンが増えていくんだと実感しました。そんなきっかけを、プロ選手から得られるなんてすごく幸せなことですね。

**宮本さん:**高校から始めたんですね!ふれあう機会を増やすことは、ハンドボール界全体にとって大事なと思います。



#### 「勝ち×価値」で より地域で輝くチームへ

**柿添選手:**ハニービーに加入し、一人ひとりが本当に勝ちにこだわっている最高のチームだと感じています。先輩たちの姿を追いかけてながら、私も選手として成長していきたいです。

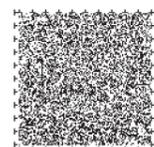
**宮本さん:**2028年には、小松空港近くにハニービーのホームゲーム開催や地域活性化の起点となるアリーナを含めた施設の建設計画があります。より一層、地域のハニービーとして選手が輝けるように、勝ち負けの「勝ち」と、価値観の「価値」、



その両輪でチーム活動を推進していきます。  
**土屋:**新しい施設ができれば、ますますハニービーさんの存在が大きくなりますね!小松市が取り組む人口減少の課題解決や描く将来像は、スポーツを通じた地域社会の活性化や健康推進がカギになります。今後ハニービーさんと包括的連携協定を締結し、中長期的な視点で共創していきたいと思います。



イオンモールは、**82**のスポーツのチーム・団体と連携し、スポーツをもっと身近にする活動をしています



### 暮らしに関連するプロジェクト

さまざまな地域での取り組みの一部をご紹介します。

#### PROJECT | CASE 02

### 富山県済生会高岡病院との取り組み

イオンモール高岡 | 富山県高岡市

#### 館内で健康への興味関心を高め 地域の健康づくりに貢献する。

済生会高岡病院に協力いただき、週1回看護師の方に健康相談ができる「まちかど保健室」、健康診断のチケットを購入し済生会高岡病院で並ばずに健康診断の受診ができる「ちよこっと健診販売機」を館内に設置しました。イオンモールウォーキングコースを済生会高岡病院監修のもと変更する計画も進めています。



#### PROJECT | CASE 03

### ふだんクエスト

イオンモール羽生 | 埼玉県羽生市

#### 「提供しているつもり」をなくし 多様な視点でサービス改善に努める。

館内の施設やサービスをユニバーサルデザインに即したものにするため、モール関係者が当事者6名の方と館内外の設備・サービスを当事者目線で体験しました。課題を「モンスター」と表したクエスト形式で行い、約100個の課題を発見。その後の課題対策会議で具体的な改善案にまとめました。

※「ふだんクエスト」は、働通が開発した多様な当事者との共創型の課題発見ワークショップです。



#### PROJECT | CASE 04

### その場でわかる! 歩行チェックチャレンジ!

イオンモール草津 | 滋賀県草津市



#### 自然と健康になれるきっかけを イオンモールで創出する。

健康寿命が地域課題の一つである滋賀県からのお声がかけて、立命館大学スポーツ健康科学部のカリキュラムへの組み込みが実現。授業科目「イオンモールで自然に健康になれるプロジェクト」にて学生が考えた、歩行姿勢測定や姿勢改善アドバイス、歩数がかかるオリジナル館内ウォーキングマップの配布など、地域住民の健康への気づきが生まれるイベントを計2日間開催。“お買い物ついでに”幅広い世代の約600名の方にご参加いただきました。

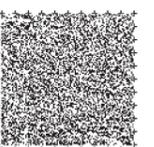
#### PROJECT | CASE 05

### かわ懐話ふだ&FC刈谷ウォーキング サッカー教室

イオンモール東浦 | 愛知県知多郡東浦町

#### 地域スポーツと共創し、「健活」コミュニティをつくる。

サッカークラブ「FC刈谷」の選手と館内でサッカーやウォーキングを楽しむ、健康イベントを開催。さらに、選手と話しながら楽しく認知症予防ができる「懐話ふだ」も行いました。多くのお子さまと保護者の方に参加いただき「FC刈谷」の認知度アップにもつなげることができました。



## 扶桑町走ろう会

イオンモール  
まちの健やか+  
Health & Wellness mall

楽しみながら健康づくりができる  
きっかけを増やしていく。

## どんなプロジェクト？

地域の皆さまの体力づくりや健康増進を図ることを目的に行われる扶桑町の恒例行事「扶桑町走ろう会」を、2023年からイオンモール扶桑と共同で開催しています。



## 第42回扶桑町走ろう会

2024年11月に開催。約700名の方がランナーとして参加、応援の方を含めると1,000名近い方に集まっていただき、大いに盛り上がりました。また、館内1階でイオンモールウォーキングにも参加いただき、日常的にできる健康づくりをご紹介します。

## ここがユニーク！

通常は駐車場の目的以外で使用するのではないモール屋上駐車場やスロープを、マラソンコースとして活用。楽しみを交えた発想で地域とともに大会を成功させました。

## 開催施設：イオンモール扶桑

オープンから20年以上にわたり地域の皆さまに愛されている、扶桑町で最大級の商業施設です。地域の皆さまの日々の暮らしを支える「ちょうどいいモール」をコンセプトにしています。

基本商圏：車20分圏 約10万世帯、約25万人  
出店店舗数：96店舗(専門店数)  
敷地面積：約91,000㎡  
駐車場台数：約2,800台  
オープン日：2003年8月9日

Life Design Developer

扶桑町×スターバックス コーヒー ジャパン×イオンモール扶桑



イオンモール扶桑  
営業担当  
松島 裕規

スターバックス コーヒー  
イオンモール扶桑店 ストアマネージャー  
横山 健太 さま

扶桑町 教育部生涯学習課  
総合体育館長  
中野 剛 さま

イオンモール扶桑  
オペレーションマネージャー  
秋長 克知

## 固定概念を超えて駐車場を健康づくりの場に活用

中野さん：扶桑町は「みんなの笑顔が かがやくまち 扶桑町」をめざし「健康づくり」を推進しています。2024年には愛知県内の自治体として初めて「げんきな免疫プロジェクト(※)」に参画するなど新しい挑戦も始まっています。イオンモール扶桑とは元気な免疫プロジェクトのキックオフイベントの協働実施などさまざまな取り組みをしてきた中で「扶桑町走ろう会」のご相談をしました。

秋長：安全上の理由から、これまでの場所で実施できなくなりお困りでしたね。40回も続いている町の大切な行事ですから、ぜひ力になりたいと考えました。モール1階の平面駐車場を使う案は、車路を封鎖するのが難しく……そんな時に「屋上は？」と。早速、中野さんに見ていただき、屋上での開催が決定。2023年は、一番長いルートで屋上3周とし、約500名の方に参加いただきました。好評だったのですが、もっと非日常のワクワクを感じていただくために、2024年は駐車場スロープを使って3階、4階を走っていただくことにしました。

松島：中野さんをはじめ扶桑町の方の協力

が厚く、大会当日も60名の方に運営のお手伝いに来ていただいています。

中野さん：安全第一ですので、町のスポーツ協力員の皆さんに交通誘導などの協力をお願いしました。

秋長：ゴール後の「コーヒーどうぞ」も喜んでいただけましたね！

横山さん：走ったあとでもホットコーヒーが人気で驚きました(笑)。スターバックスは、より地域に根差し、地域の皆さんとつながりながら地域課題の解決に寄与するような活動に全社的に取り組み始めています。今回、まさにそういったコンセプトのイベントに関わることができてとても良い一歩になりました。

※官民連携で「免疫の大切さ」を発信し、子どもから大人まで一人ひとりが「免疫ケア」で健康に過ごせる毎日の実現をめざすプロジェクトです。

## 地域の皆さまの笑顔を思い浮かべ 創意工夫を続けていく

中野さん：2024年はイベント感が増し、お子さんからご年配の方まで、多くの笑顔が見られました。来年以降も、マイペースに楽しみながら健康や運動への意識を高めるきっかけづくりができたらと思います。

秋長：「扶桑町走ろう会」を通じて、改めてモールのアセットをさまざまな形で地域の課題解決に活用できることがわかりました。次回以降も、参加者の方にどのように楽しんでいただくか、どのようにモールで過ごしていただくかなど、アイデアを練りたいと思います。

横山さん：今回、イオンモールと扶桑町のコラボレーション・イベントに関わり、私たちスターバックスにとっても新しいアイデアのインスピレーションになりました。例えば私たちの店舗スペースを地域の皆さんのコミュニティ活動に使っていただくなど、新しい可能性もこれから模索したいと思います。そして何より、私が扶桑町に来て一番に感じるのは人の温かさです。「扶桑町走ろう会」をきっかけに、地域の皆さんと手を取り合って、扶桑町がめざす姿に向けて歩んでいきたいと思い新たにしました。

松島：扶桑町が大切にされている、みんなで支え合う健康づくりに、これからも継続して取り組んでいきたいですね。

